



2025 年 1 月 7 日

## 乙巳の年

公益財団法人 国際通貨研究所  
理事長 渡辺 博史

明けましておめでとうございます。

昨年 2024 年は、第二次世界大戦が終了した 1945 年以降最悪の年になるかも、と年初から言われ、またアメリカからは「11 月以降、もっと悪くなるかも・・・」という声も聞こえていました。結果として、各地の戦火は収まらず、米国の国論には大きな亀裂が生じ、米中の対立は激しさを増し、ヨーロッパ諸国では政変が続発し、中東の状況は混乱度を増し、世界中が記録更新の高温に見舞われるといった状況になっています。日本のことは・・・省略。

という中で、さて、今年は何か良いことがあるだろうかという手がかりを探るべく、自称「恒例」の十干十二支を遡る「絵解き」作業をして行きましょう。

今年は十二支の「巳 へび」年で、十干では「乙 きのと」にあたり、「乙巳 きのとみ」の年ということになります。「巳」は十二支の六番目、「乙」は五行説の木火土金水のうちの「木」の弟（陰）ということで二番目。十干十二支の組み合わせの 60 干支でいえば、42 番目にあたります（「42」という数字も今一ですが・・・）。

乙巳の運氣について語る能力は無いので、例年同様、単に過去の乙巳の出来事を見て行きましょう。

直近は、1965 年です。東京オリンピックの翌年にあたり、アジアのオリンピック主催国があまねく悩まされた「五輪後不況」が生じ、戦後初の「赤字国債」が発行されました（11 月 19 日に 7 年物を 2,000 億円発行することが閣議決定されました。なお、その日の日経平均終値は 1,329 円 28 銭でした）。

国際的には、米軍のベトナム北爆が開始され（それを受けた形で日本では「ベ平連」が結成されました）、中国では文化大革命が始まっています。また、シンガポールがマレーシアから独立し、自主路線を歩み始めましたし、日韓基本条約が締結されました。残念ながら米国ではマルコム X が暗殺されました。

国内を見ると、戦後初の国産航空機となる YS-11 が就航し、ジャルパックも発売開始となっています。空路の視界改善では無いですが、富士山レーダーが始動していますし、

有楽町に東京交通会館が開設されました。さらに交通関係でいうと、名神高速道路が完成し、国鉄が「みどりの窓口」の運用を開始しています。また、今も販売されているオロナミンCドリンク、プルトップ缶ビールが発売されました。Jリーグの基礎となった日本サッカーリーグがスタートし、プロ野球で第一回のドラフト会議が開かれました。メディアの世界では、視聴者層は（当然に！）全く異なりますが、「オバケのQ太郎」と「11PM」が放映開始となっていますし、カラーテレビアニメの第一号として「ジャングル大帝」が放映されています。一方、大手新聞社が日曜日の夕刊の発行を終わらせました。そして「億ション」第一号として、原宿にコープ・オリンピアが誕生しました。

その前は、1905年です。一番大きな出来事は日露戦争がポーツマス条約締結によって終結したことです。一方で、シベリア鉄道が開通しています。

国内では、夏目漱石の「吾輩は猫である」の連載開始とか仁丹が発売されたというくらいでやや戦争疲れが有るようです。とはいうものの対外関係の増強は必要ということで、日本初の大使館がイギリスに設置されました（公使館からの昇格です）。初代大使が林氏ですが、その後多くの林氏が駐英大使になられています。また、日米間の桂・タフト協定で、日本の韓国支配、アメリカのフィリピン支配を相互に承認しています。そして、第二次日韓協約が締結され、韓国の外交権を日本が掌握しました。

新5000円札の津田梅子がYWCAを創設しており、上田敏の「海潮音」が出版されています。中国では清の末期にあたりますが、伝統的な官僚登用試験である科挙が廃止されました。

我々の考え方に今でも影響を与えているものとしては、アルベルト・アインシュタインの「特殊相対性理論」の発表、マックス・ヴェーバーの「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」の発刊がありました。また、アメリカのMAGA論者に影響を与えたとされるアイン・ランド、実存哲学のジャン＝ポール・サルトル、「夜と霧」を著わしたヴィクトール・フランクルが生まれています。ジャーナリズムの立ち位置についての議論が喧しい昨今ですが、エドガー・スノーもこの年に生まれています。

そして、更に60年遡ると1845年になりますが、世界的にもめぼしい出来事は無く、アイルランドでジャガイモ飢饉が始まったというのが大ニュースです。他に、バンドエイドの原型となる医療テープの patents が認められています。また、世界最初の野球チームとして、ニューヨーク・ニッカーボッカーズが発足しています。なお、米国大統領の選挙日が「11月の最初の月曜日の次の最初の火曜日」と定められ、これは今でも続いています。

生誕者を見ると、筆者の敬愛するエドガー・アラン・ポーがいる他、ヴィルヘルム・レントゲン、ゲオルク・カントール（数学者）がいます。

さらにその前の1785年には、日本では田沼意次が最上徳内を蝦夷地調査に派遣しているくらいで大きな出来事は有りません。今に残る大きな出来事としては、米国議会が

「ドル」をその通貨単位として選んだということが有ります。初期の有名大学はほとんど私立大学だったアメリカで初の公立大学としてジョージア大学が開学しています。また、イギリスでは世界最古の日刊新聞「タイムズ」が創刊されています。現在のエネルギー問題の一つの焦点は水素になっていますが、この年アントワーヌ・ラヴォアジエが水素と酸素を燃焼させて、水を「合成」させています。また、搭乗した熱気球の爆発によりイギリス海峡で死亡したピラートル・ド・ロジェは記録に残る最古の有人飛行事故死者とされています。

さらにさかのぼると 1725 年になりますが、ロシアでピョートル一世が死亡したくらいしか出来事が見つかりませんでした。なお、女性遍歴!?で知られる作家ジャコモ・カサノヴァが生まれています。

その前の 1665 年には、アイザック・ニュートンが万有引力、二項定理を発見、発表しています。この時期、イングランドはペストの流行に侵されていました。なお、ヨハネス・フェルメールがこの頃「真珠の首飾りの少女」を描いたのでは、とされています。

ここで止めにしますが、1605 年には、徳川秀忠が第二代征夷大將軍に就任していますが、この 46 年後に騒擾（慶安の変）を起こした由井正雪が生まれたのもこの年でした。シェークスピアの戯曲「真夏の夜の夢」の初演の記録がこの年とされています。スペインでは、ミゲル・デ・セルヴァンテスが「ドン・キホーテ」（前編）を発表しています。ドン・キホーテのような人物は、現在のような時代に居た方が良いのか、居ない方が良いのか、やや判断に悩みます。まあ、2025 年には、巨人群と見間違えないで脱炭素に向けて風車と仲良くすることが我々には必要でしょう。

最近ヨーロッパに行くときには、搭乗した飛行便は一路「東」に飛び続けます。地球が丸いのだ、と改めて実感すると同時に、世界は分かたれているのだと思います。この乙巳の年において何か佳いものが一つでも実を結ぶことがあれば、と願います。

(IIMA メールマガジンへの寄稿)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2025 Institute for International Monetary Affairs (公益財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: Nihon Life Nihonbashi Bldg., 8F 2-13-12, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0027, Japan

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-13-12 日本生命日本橋ビル 8 階

e-mail: [admin@iima.or.jp](mailto:admin@iima.or.jp)

URL: <http://www.iima.or.jp>